



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月2日

上場会社名 日本金銭機械株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6418 URL http://www.jcm-hq.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上東 洋次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 高垣 豪 TEL 06-6703-8400
 経営企画本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	7,398	3.5	374	43.6	△134	—	△305	—
28年3月期第1四半期	7,148	11.3	260	△8.4	429	62.4	263	154.8

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △834百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 △330百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△11.32	—
28年3月期第1四半期	9.78	—

(注) 1. 28年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 29年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	38,536	28,189	73.1	1,044.90
28年3月期	40,428	29,252	72.3	1,084.29

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 28,184百万円 28年3月期 29,248百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	8.50	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,700	1.4	700	13.2	600	△14.9	400	△13.9	14.83
通期	30,000	0.8	1,500	0.2	1,500	31.3	900	151.4	33.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	29,662,851株	28年3月期	29,662,851株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	2,684,854株	28年3月期	2,684,803株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	26,978,031株	28年3月期1Q	26,978,182株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国や欧州では個人消費を中心に総じて底堅く推移いたしました。中国をはじめとする新興国経済の減速や英国のEU離脱問題など、景気の先行きへの懸念材料が顕在化してまいりました。一方、国内経済は、不確実性の高まる世界情勢を受けて円高・株安が進行したことから、企業業績や個人消費に停滞感がみられるなど、足踏み状態が続きました。

当社グループを取り巻く環境について、ゲーミング市場では堅調な需要がみられた一方で、コマーシャル（金融・流通・交通等）市場における需要は軟調であり、国内の遊技場向機器市場でも、パチンコ機への規制問題等から設備投資の抑制傾向が続いております。

このような状況の下、当社グループは、ゲーミング市場におけるマーケットシェアの維持・拡大、コマーシャル市場・遊技場向機器市場における積極的な販売活動を行うとともに、経営全般にわたる各種コストの圧縮に努め、売上規模の拡大と収益の確保に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は73億98百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。利益面では、売上高の増加に加え、販売費及び一般管理費の削減により、営業利益は3億74百万円（前年同四半期比43.6%増）となりました。しかしながら、当第1四半期連結会計期間末にかけて急速に円高が進行したことから、営業外損失として外貨建資産の為替時価換算差損5億22百万円を計上したため、経常損失は1億34百万円（前年同四半期は4億29百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億5百万円（前年同四半期は2億63百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の為替レートは、米ドル115.73円（前年同四半期は119.27円）、ユーロは127.78円（前年同四半期は132.65円）で推移し、また、当第1四半期連結期間末の時価評価に適用する四半期末日為替レートは、米ドル102.88円（前連結会計年度末は112.69円）でありました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①グローバルゲーミング

欧州市場向けの紙幣選流ユニットの販売が好調に推移したことなどにより、当セグメントの売上高は41億24百万円（前年同四半期比9.2%増）、セグメント利益は7億32百万円（前年同四半期比21.4%増）となりました。

②海外コマーシャル

北米金融市場向けの紙幣識別機ユニットの販売が、販売先の在庫調整等の影響で伸び悩んだことなどにより、当セグメントの売上高は8億76百万円（前年同四半期比17.4%減）、セグメント利益は5百万円（前年同四半期比97.8%減）となりました。

③国内コマーシャル

外貨両替機に加え、セルフガソリンスタンド向け釣銭機の販売が増加したことにより、当セグメントの売上高は5億11百万円（前年同四半期比8.3%増）、セグメント利益は5百万円（前年同四半期比96.5%増）となりました。

④遊技場向機器

業界内での設備投資抑制の傾向が続く中、当社グループが得意とするメダル自動補給システムなどの関連設備機器の販売に注力したことなどにより、当セグメントの売上高は18億85百万円（前年同四半期比2.5%増）となり、セグメント利益76百万円（前年同四半期は20百万円のセグメント損失）を計上いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、385億36百万円となりました。「仕掛品」が増加いたしました。また、「受取手形及び売掛金」及び「のれん」をはじめとする無形固定資産が償却により減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ18億92百万円減少いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、103億46百万円となりました。「支払手形及び買掛金」及び決算期末の時価評価により「短期借入金」が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ8億29百万円減少いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、281億89百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び為替換算調整勘定の減少があったことから、前連結会計年度末に比べ10億62百万円減少いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間では、法人税等の支払額3億41百万円、税金等調整前四半期純損失1億36百万円などの資金の減少がありましたが、為替差損益4億3百万円、減価償却費2億38百万円などの資金の増加がありましたので、営業活動によるキャッシュ・フローは4億70百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、有形固定資産の取得による支出81百万円などの資金の支出がありましたので、61百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、配当金の支払額2億31百万円、リース債務の返済による支出29百万円などの資金の支出がありましたので、2億60百万円の支出となりました。

これらの結果に加え、現金及び現金同等物に係る換算差額2億57百万円の資金の減少がありましたので、現金及び現金同等物は86億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ、1億9百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成28年5月10日付決算短信の発表数値から変更はありませんが、今後の需要動向による業績への影響などを確認の上、適時開示が必要な場合には、速やかに公表してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,814,795	8,705,734
受取手形及び売掛金	6,556,700	6,093,633
有価証券	84,721	56,348
商品及び製品	6,089,803	5,495,161
仕掛品	711,767	922,389
原材料及び貯蔵品	2,978,839	2,943,922
その他	1,148,329	953,582
貸倒引当金	△263,849	△257,794
流動資産合計	26,121,107	24,912,978
固定資産		
有形固定資産	5,090,253	5,072,470
無形固定資産		
のれん	2,625,420	2,405,301
技術資産	500,990	447,550
顧客関連資産	3,839,480	3,517,009
商標権	516,856	479,122
その他	71,911	68,485
無形固定資産	7,554,659	6,917,469
投資その他の資産		
その他	1,716,705	1,687,839
貸倒引当金	△53,887	△54,638
投資その他の資産合計	1,662,818	1,633,200
固定資産合計	14,307,730	13,623,140
資産合計	40,428,838	38,536,119
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,433,683	3,257,007
短期借入金	4,620,290	4,218,080
未払法人税等	307,798	117,257
賞与引当金	256,898	153,844
役員賞与引当金	8,800	—
その他	1,812,801	1,926,821
流動負債合計	10,440,271	9,673,010
固定負債		
厚生年金基金解散損失引当金	67,000	67,000
その他	669,497	606,787
固定負債合計	736,497	673,787
負債合計	11,176,768	10,346,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,216,945	2,216,945
資本剰余金	2,068,964	2,068,964
利益剰余金	26,514,737	25,980,130
自己株式	△2,329,517	△2,329,558
株主資本合計	28,471,129	27,936,481
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,263	56,606
為替換算調整勘定	707,962	191,305
その他の包括利益累計額合計	777,226	247,911
新株予約権	3,713	4,927
純資産合計	29,252,069	28,189,320
負債純資産合計	40,428,838	38,536,119

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	7,148,958	7,398,370
売上原価	4,265,052	4,681,650
売上総利益	2,883,905	2,716,719
割賦販売未実現利益戻入額	21,792	16,070
割賦販売未実現利益繰入額	49,804	—
差引売上総利益	2,855,893	2,732,790
販売費及び一般管理費	2,594,906	2,357,923
営業利益	260,987	374,866
営業外収益		
受取利息	1,387	2,016
受取配当金	10,855	10,509
為替差益	162,904	—
その他	13,282	14,901
営業外収益合計	188,429	27,428
営業外費用		
支払利息	8,819	9,406
為替差損	—	522,834
持分法による投資損失	8,706	—
その他	1,911	4,462
営業外費用合計	19,437	536,704
経常利益又は経常損失(△)	429,978	△134,409
特別利益		
固定資産売却益	199	206
特別利益合計	199	206
特別損失		
固定資産除却損	1,774	2,521
固定資産売却損	13	54
特別損失合計	1,787	2,576
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	428,391	△136,780
法人税、住民税及び事業税	151,655	181,035
法人税等調整額	12,808	△12,522
法人税等合計	164,463	168,512
四半期純利益又は四半期純損失(△)	263,927	△305,292
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	263,927	△305,292

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	263,927	△305,292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,475	△12,657
為替換算調整勘定	△603,557	△516,657
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,205	—
その他の包括利益合計	△594,286	△529,314
四半期包括利益	△330,359	△834,607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△330,359	△834,607
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	428,391	△136,780
減価償却費	150,867	238,501
のれん償却額	156,394	48,721
引当金の増減額(△は減少)	△153,513	△114,629
受取利息及び受取配当金	△12,242	△12,526
支払利息	8,819	9,406
為替差損益(△は益)	△199,453	403,735
有形固定資産除売却損益(△は益)	1,587	2,370
持分法による投資損益(△は益)	8,706	—
売上債権の増減額(△は増加)	335,527	102,693
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,328,851	56,838
仕入債務の増減額(△は減少)	50,014	72,758
未収消費税等の増減額(△は増加)	28,492	124,631
その他	174,436	12,738
小計	△350,824	808,461
利息及び配当金の受取額	12,071	12,354
利息の支払額	△8,819	△9,406
法人税等の支払額	△181,148	△341,050
営業活動によるキャッシュ・フロー	△528,721	470,358
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額(△は増加)	△28,979	23,431
有形固定資産の取得による支出	△70,035	△81,846
有形固定資産の売却による収入	210	466
無形固定資産の取得による支出	△8,000	△2,885
投資有価証券の取得による支出	△98,510	△401
その他	△4,964	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△210,280	△61,235
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△284,096	△231,544
リース債務の増加による収入	13,798	297
リース債務の返済による支出	△32,257	△29,007
自己株式の取得による支出	—	△41
財務活動によるキャッシュ・フロー	△302,555	△260,296
現金及び現金同等物に係る換算差額	△138,453	△257,887
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,180,010	△109,061
現金及び現金同等物の期首残高	8,814,280	8,794,795
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,634,270	8,685,734

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,775,292	1,061,870	472,094	1,839,701	7,148,958	—	7,148,958
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,775,292	1,061,870	472,094	1,839,701	7,148,958	—	7,148,958
セグメント利益又は 損失(△)	603,130	242,825	2,652	△20,045	828,562	△567,575	260,987

(注) セグメント利益の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,124,253	876,999	511,153	1,885,964	7,398,370	—	7,398,370
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,124,253	876,999	511,153	1,885,964	7,398,370	—	7,398,370
セグメント利益	732,422	5,425	5,210	76,811	819,868	△445,002	374,866

(注) セグメント利益の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。